

当院小児科で鎮静MRI検査を受けたことのあるお子さまと保護者さま

今回、当科で2023年8月から2026年5月までに、MRI検査を鎮静して受けたことのあるお子さまを

対象として、臨床研究を実施いたしますのでお知らせいたします。

1. 研究の意義と目的

デクスメトミジン塩酸塩(以下、デクスメトミジン)は、お子さまが点滴で使用して十分に鎮静されている場合でも、刺激を与えると容易に目を覚ますお薬とされています。その安全性が評価され、2023年2月、鎮静が必要な子どもの検査時に使用することが承認されました。当科では、2024年12月20日から、子どもが鎮静してMRI検査を受ける際に、従来使用していた薬(トリクロホスナトリウム)ではなく、デクスメトミジンを用いることにいたしました。2026年5月まで、100例近いお子さまにデクスメトミジンを使用した経験を踏まえ、今回、従来のトリクロホスナトリウムとの鎮静効果を比較することを目的に、お子さまの鎮静中の経過や検査に関する情報を電子カルテから抽出し、統計学的に解析することといたしました。

この研究により、デクスメトミジンが、トリクロホスナトリウムと同等、あるいはそれ以上の鎮静効果を発揮することが証明されれば、今後もデクスメトミジンを継続する根拠となります。

2. 研究の方法

2023年8月から2026年5月までに、当科でMRI検査を鎮静して受けたことのあるお子さまを対象に、電子診療録から検査時の年齢・体重・身長、検査目的、MRI検査を遂行できた割合を抽出して、統計学的に解析をします。また、検査を遂行するにあたり追加薬剤が必要であったか、何らかの副作用が生じたか、についても、電子カルテから関連する情報を抽出し、統計学的に解析します。情報は、全て匿名化

し、どのお子さんの情報がわからない状態で解析いたします。匿名化の詳細については、次の「3. 個人情報の保護について」の中で詳しく述べます。

3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたり、電子診療録から得た情報から住所や名前等を削除し、お子さん個人が特定できないように符合をつけて「匿名化」を行います。情報は、鍵のかかるキャビネットに保管します。お子さんと符号とを結びつける対応表は、研究責任者が鍵のかかる別のキャビネットに保管することにより、お子さん個人の情報を独立して管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによって、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのかが分かりません。お子さま個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となるお子さまとその保護者さまお一人お一人へご説明は致しませんが、ご自分の情報をこの研究に用いられたくないとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいてお子さまへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。この研究は2026年 3月31日までを予定しており、得られた情報は医学学会や医学論文として発表したのち破棄いたします。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 栗原良輔、齋藤真理、菊池豊

電話：0570-84-3332



日本赤十字社マスコット
キャラクター ハートラちゃん